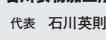
を行を始めたのは18歳のごろ。埼玉で5年りて製作している。季節によって色や形が変けて製作している。季節によって色や形が変わり、6~7種類ほどあるという。 ー日に仕上げることができるのは、8個から10個程度。良い仕事をすることが、次の仕事の依頼につながると話す。 フォーマ なめらかな光沢のある上品な さんが主に手がけている商品はなら、ぜひ欲しいと思う人は多いはず どろ。埼玉で5 で過ごし、今から16年ほど前に白沢に戻った。で過ごし、今から16年ほど前に白沢に戻った。 特玉に住んでいたころの思い出として、交換玉に住んでいたころの思い出として、交換玉に住んでいたころの思い出として、交換玉に住んでいたころの思い出として、交流に付かいかと頼まれたほどである。とても同様のものを作り、大変喜ばれている。 「健康であれば、いくつまでもやっていただけないかと頼まれたほどである。とても対対である。自沢に戻った。 「健康であれば、いくつまでもやっていた。」と笑顔で語ってくれた。

(白岩字塩ノ崎) 、ンドバック製作などを手がける石川袋物加工所、ーズ「匠」の第2回目に登場していただくのは、職人と呼ばれるその道の達人を紹介していくシ の石川英則さんです

TAKUMI





(白岩字塩ノ崎) TEL 44-4318

FM Mot.Com

:あの声は、私です



《パーソナリティ紹介》

-ム: 平

身:本宮字上町

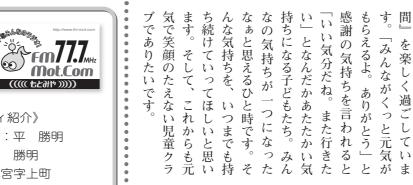
◆趣 味:ゴルフ、読書

◆担当番組

「平勝明のスポーツ

マルガリータ」 (毎週月曜日 午後8時~)

◆リスナーに一言: 「3人のパーソナリティーで語りあうス ポーツ新聞の片隅をつついたような話題、懐かしのスポー ツ選手の話と、今話題の話をおりまぜてやっています。 これからも皆さんヨロシクお願いします。」





与目の人

国分 誓子さん CHIKAKO KOKUBUN

(糠沢字久保内)

現在、JA みちのく安達女性部白沢支部長。 また、イクタン号 GO をはじめ各種ボランティ アに積極的に参加する。

過去には赤十字奉仕団委員長、糠沢婦人 会長などを歴任。書道は四段の腕前。趣味 はコーラス。特技はとたずねると、「農業です」 と笑って答えていただいた。

可愛いお孫さんから、「60歳は人生の折り 返しだね」と言われたことに喜び、「これか

私の随想録

人生 これから」

四季折々の風景を感じながら、自然の中で体を動かし 活をいっぱい流し、物を育てる農業が私は大好きです。 私は、農家に生まれ育ちましたが、父は私が生まれる前に戦死したため、家の手伝いをしながら、定時制高校に通い、卒業すると、すぐ農家に嫁いで45年が過ぎてしまいました。家で農業をしていたました。家で農業をしていたせいか、地域の活動、役員やボランティア、数々の趣味と、

こしもで過ぎ、気、で過ぎ、気、

にこそ… ただいた事、そしてあり、こだいた事、そしてぬ強させてまた、いろいろと勉強させてしまったように思います。 しまったように思います。 しまったように思います。

らの人生を大事にしたい」と語ってくれた。

いただいた事、そして協力していただいた事、そして協力しています。今は、孫たちも大きくなりました。そして何より健康な体に産んでくれた家族にはいつも感謝して、私は、今がようやく人生のがわいてきます。心にゆとりのある自分を過ごしたいと思っています。人の大切な命を出荷しています。これからが自分の人生と思えば夢する不安が次々と起っています。一人生、これからが自分を過ごしたいと思い、「人生、これからが自分を過ごしたいと思い、「人生、これからが自分を過ごしたいと思いたりを強があれたち会員として、新鮮で、安心、安全な野菜を出荷しています。これからが自分を過ごしたいと思い、方きな課題ではないでします。これからも健康でも高いでします。おりますが、農業をとりまく問題は沢山か。農業をとりまく問題は沢山か。農業をとりまく問題は沢山からも健康ではないでしょうか。農業をとりまく問題は沢山からも健康ではないでしょうか。大きな課題ではないたち会員の励ない、次世代に残せるように農業を少しでも続けていけたられることないたけるに農業は自然環境をといるに対しています。 なってほしいと思かったと言えると思っています。

字登戸)の

の予定です。 こ言えるような地域と、本宮市が合併して良ています。

の子が

ルドッチボー

ル・キッます。男

広い館庭で遊んでいます。

クをしたり、

天気の良い日は

将棋・ままごと・ブロ

ます。将棋・ままごと・ブロッ放課後を楽しく過ごしていは現在51名の子どもたちがまのみ放課後児童クラブ

登録者数:51人 住所:本宮市本宮字花町33-電話:33-5244

つも子どもたちの歓声でにぎになっています。館庭は、いつの間にか子どもたちが先生 なで、エ 見て! 気にあいさつすると「待 ます。 台の一輪車を順番待ちしてい戦者が1人・2人…今では7 えた歌やダンスを子どもたち 送りなどをしたり、 ちゃん。一緒に折り紙・風船 ホーム花の里』を訪問して わっています。 ンジしましたが、「先生前を くれるおじいちゃん・おば る状態です。 また、 手を握り笑顔で迎えて 「こんにちは~」 おなかしめて!」とい 月に一度『グ 昨年 私たちもチャ -の冬頃 学校で覚 から挑 してい 付って の時

女の子たちのブ

と笑顔で語ってくれ